

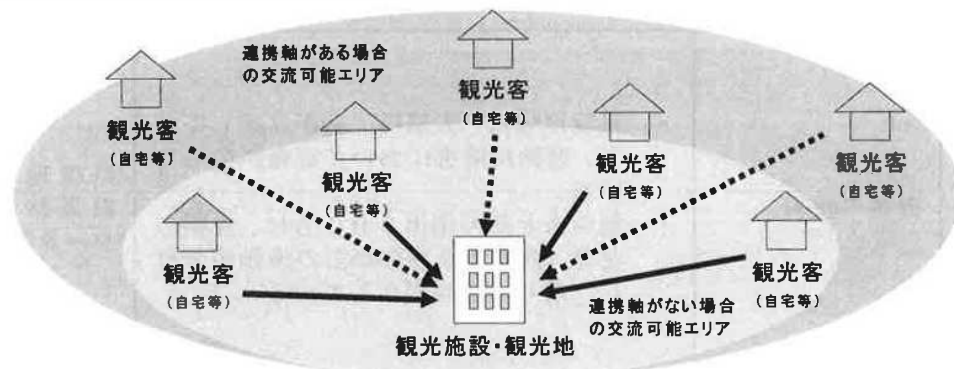
1-4 連携軸がないことによる経済損失の検討

(1) 地域連携（観光）の視点からみた経済損失

①検討概要

三遠地域においては、県境部付近に南北方向の連携軸がないこと（高速道路との連携等が弱いこと等）によって、観光交流エリアが狭い状況となっていると考えられる。

そのため、本業務では、観光交流エリアが狭いことによって観光交流可能人口が減少する状況に着目し、これに伴った観光消費額を計測することによって、連携軸がないことによる観光面での経済損失額を概算する。



【観光地の交流可能人口に着目した検討イメージ】

②検討手法

観光面での経済損失額については、以下の算出式により試算する。

【算出式】

観光面での経済損失額＝連携軸が存在しないことによって交流が困難な地域の人口（A）

× 交流可能人口当たりの観光客数（B）

× 自動車の利用率

× 一人当たりの観光消費額

÷ 平均立ち寄り施設数

連携軸が存在しないことによって交流が困難な地域の人口・・・・・・（A）

＝ 連携軸がある場合の交流可能人口

－ 現在（連携軸がない場合）の交流可能人口

交流可能人口当たりの観光客数・・・・・・（B）

＝ 三遠地域南部の観光客数 ÷ 現在の交流可能人口

③検討の前提条件

観光面の経済損失額の算出にあたっては、以下を前提とする。

i) 交流可能人口

- 当該地域南部に位置する観光地（道の駅潮見坂）を起点とし、起点から2時間エリア内の夜間人口（平成17年国勢調査4次メッシュ人口：500m）を算出する。
- 3時間エリアを算出する際のネットワークは、平成26年道路網（新東名が豊田JCTまで供用：平成23年度調査における将来交通量推計ネットワーク）を基本とする。
- 3時間エリアを算出する際の走行速度は、連携軸がある場合とない場合のそれぞれにおける将来交通量推計結果の平均走行速度を用いる。
- 連携軸の位置は、平成23年度調査における対策案の方向性として示されたルート案（第3案：湖西市南北縦断ルート）とする。

ii) 自動車利用率

- 自動車利用率については、平成21年度静岡県における観光の流動実態と満足度調査報告書における居住地が中部の自家用車の分担率を用いる。

居住地が中部の自家用車分担率＝71.5

iii) 平均立ち寄り施設数

- 1回の観光における立ち寄り施設数については、平成21年度静岡県における観光の流動実態と満足度調査報告書における西部地域の値を用いる。

西部地域での立ち寄り施設数：宿泊客：2.2箇所/日、日帰り客：1.2箇所/回

iv) 三遠地域南部の観光客数

- 三遠地域南部の観光客数については、連携軸がないことで損失が発生していると考えられる地域の観光客数とし、湖西市、豊橋市、田原市とする。
- 湖西市については平成22年度、豊橋市及び田原市については平成18年度の観光交流客数を用いる。

湖西市 705,048人（平成22年度）

豊橋市 3,483,325人（平成18年度）

田原市 3,503,420人（平成18年度）

計 7,691,793人